

年間指導計画を立案する際の参考資料

中学校 第3学年 「美術（光村図書）」

25時間（70%）

週	領域	題材名	題材の内容	時間数	留意点	
1	B鑑賞 (1)ア	特別展示室 ゲルニカ、明日への願い 1時間	「ゲルニカ」の線や筆の跡から、描かれた人や生き物の声、思いなどを想像し、この作品を見たことによる自分の心の変化を実感する。	1	・表現活動との関連を意識する。 ・作者の心情や意図について話し合う時間を設定する。	
2 ～ 6	A表現 (1)ア	形と色の挑戦 6時間	言葉や音楽などを手がかりにしてイメージを広げ、形や色彩の特徴や組み合わせ方などを工夫して、抽象的な表現をつくり出すことを楽しむ。	6	・制作する作品の大きさを制限することで、時間削減できるよう配慮する。	
	B鑑賞 (1)ア		キャラクターやストーリー、構図などの検討を通して描く力やつくる力を総合的に生かしながらか構想し、形や色を変化させてアニメーションなどに表す。	6	・制作に必要な資料収集やアイデアスケッチなど、構想を練る活動の補充は家庭で実施する。	
	【選択】			6時間	・制作する作品の大きさや材料を制限することで、時間削減できるよう配慮する。 ・制作に必要な資料収集やアイデアスケッチなど、構想を練る活動の補充は家庭で実施する。	
7 ～ 10	A表現 (1)イ (2)ア	暮らしやすい町づくり 6時間	今を生きる自分や将来になりたい自分などを絵に託して届げる気持ちで構想を広げ、自分をあらわすのにふさわしい表現方法や材料を選び、形や色彩などを考え、工夫して取り組む。	6	・制作に必要な資料収集やアイデアスケッチなど、構想を練る活動の補充は家庭で実施する。	
	B鑑賞 (1)ア		環境デザインのあり方について関心を持ち、暮らしやすい町のデザインを考える。	6	・加工が容易な軽量粘土などの材料で制作することで、時間削減できるよう配慮する。 ・制作に必要な資料収集やアイデアスケッチなど、構想を練る活動の補充は家庭で実施する。	
	【選択】		包みの工夫、パッケージデザイン 6時間	内容物の包装や保護、運搬、開封などの機能と、必要な情報や内容物のイメージの伝達という両面を考慮し、独自のパッケージをデザインする。	6	・加工が容易な紙などの材料で制作することで、時間削減できるよう配慮する。 ・制作に必要な資料収集やアイデアスケッチなど、構想を練る活動の補充は家庭で実施する。
11	A表現 (1)イ (2)ア	夢を形にするデザイン 6時間	身の回りや社会から問題を見つけ、それを解決するための形や機能を考えてデザインする。	6	・制作に必要な資料収集やアイデアスケッチなど、構想を練る活動の補充は家庭で実施する。	
	B鑑賞 (1)ア		原寸大で鑑賞しよう 鳥獣花木図屏風 1時間	伊藤若冲の『鳥獣花木図屏風』を原寸大で鑑賞し、樹目を使って描く手法の特色や効果について話し合う。	1	
	【選択】		原寸大で鑑賞しよう 平螺鈿背円鏡 1時間	平螺鈿背円鏡を原寸大で鑑賞し、施された装飾の華麗な輝きと繊細な美しさを感じ取るとともに、螺鈿の工程について理解する。	1	
12 ～ 16	A表現 (1)ア (2)ア	光と影で遊ぶ 6時間	光で色を演出するステンドグラスや影の形を生かした作品など、美しさや意外性を考えて構想を練り、材料や形、光の色や効果を考えて表す。	6	・制作に必要な資料収集やアイデアスケッチなど、構想を練る活動の補充は家庭で実施する。	
	B鑑賞 (1)ア		躍動感を捉えて 6時間	対象の実際の動きをよく観察してその躍動感をあらわすポーズを探り、針金や粘土、鉛筆や絵の具などの材料の使い方を学びながら、感じ取ったことをより効果的に表す工夫をする。	6	・軽量粘土やアルミ針金など、加工が容易な材料を使用し、時間削減できるよう配慮する。 ・制作に必要な資料収集やアイデアスケッチなど、構想を練る活動の補充は家庭で実施する。
	【選択】		環境とともに生きる彫刻 6時間	設置する作品と、環境やそこを訪れる人々がどのように関わるのかをイメージしながら、スケッチや模型などに表す。	6	・加工が容易な紙や軽量粘土などの材料で制作することで、時間削減できるよう配慮する。 ・制作に必要な資料収集やアイデアスケッチなど、構想を練る活動の補充は家庭で実施する。
17 ～ 21	A表現 (1)イ	季節感のある暮らしを楽しむ 5時間	季節感を取り入れた工芸品を制作する活動を通して、日本の伝統文化を継承し、新しい解釈も加えて現代の暮らしに生かしていこうとする態度を養う。	5	・加工が容易な軽量粘土などの材料で制作することで、時間削減できるよう配慮する。 ・制作に必要な資料収集やアイデアスケッチなど、構想を練る活動の補充は家庭で実施する。	
	B鑑賞 (1)イ		手づくりに込める思い 5時間	使う人の気持ちや使いやすさ、造形的な美しさや楽しさなどを総合的に考えてアイデアスケッチし、気持ちを込めて小物を手づくりする。	5	・滑石や紙粘土など加工が容易な材料で制作することで、時間削減できるよう配慮する。 ・制作に必要な資料収集やアイデアスケッチなど、構想を練る活動は家庭で実施する。

## ※時間数の精選方法（例）

○同じ領域の題材を選択して扱う。

・例えば、A表現（1）ア（2）アを扱う題材として、「形と色の挑戦」「絵や立体が動き出す」「自画像、今を生きるあなたへ」のいずれかを選択して実施する。 など

○加工に時間がかかる材料を扱うことを避けたり、作品の大きさを小さくしたりして、制作時間の短縮を図る。

○題材によって多様な表現技法を提示することで、生徒が表現技法を選択して制作に臨めるようにする。

○製作途中の相互鑑賞は、鑑賞の視点を明確にし、短時間で行うことが考えられる。

○振り返り（制作した作品の鑑賞等）の活動は、休み時間などを利用し、展示された作品を鑑賞することが考えられる。友達の作品に対するコメントは、作品の名札に付箋紙を貼るなどの工夫をすることが考えられる。

○鑑賞の題材を表現の題材の導入等で扱うなど、表現と鑑賞の関連を意識し複合的に行う。

○資料収集やアイデアスケッチ、配色計画など、構想を練る学習の補充は、家庭での課題として扱う。（提出されたアイデアスケッチや設計図などは、「表す」時間の前にチェックし、助言をワークシート等に記入して生徒に返す。